

英国の発電所に燃料を供給する米国の工場が

環境規制を 1 万 1000 回違反

Drax は、ノース・ヨークシャー州セルビーの発電所に燃料を供給する米国の木質ペレット工場での環境違反で 610 万ドルの罰金を科された。

英国最大の発電所である **Drax** は、環境規制を 1 万 1000 回以上違反している米国の木質ペレット工場から燃料を調達していることが、タイムズの調査で判明した。

違反は **Drax Group** が所有する 6 つの工場で発生し、そこで生産された木質ペレットはノース・ヨークシャー州セルビーの発電所に送られている。アラバマ州、ルイジアナ州、ミシシッピ州、ワシントン州で、有毒な大気汚染物質の許容限度を超えたり、水路を汚染したり、汚染を抑制する重要な機器を使用していなかったりするなどの違反行為が行われている。

Shoosmiths 法律事務所の上級環境弁護士アンガス・エバーズ氏は、この数字を「極端」と表現し、度重なる違反の一部は「管理の不備を示唆している」と述べる。

2014 年以降の 11,378 件の違反のうち、8,700 件以上が 2020 年初頭以降に発生しており、平均して 1 日 5 件の環境違反が発生していることになる。

「英国でそのようなコンプライアンス上の問題を抱えている石油精製所や化学工場を私は知らない」とエバーズ氏は述べた。「最も違反の多い水道会社でさえ、毎日これほどの違反があるとは思えない」。

Drax にとって環境違反はデリケートな問題だ。なぜなら、同社の事業が持続可能であるという主張に基づいて英国政府の支援を求めているからだ。同社は最近、影のエネルギー大臣クレア・コウチーニョ氏から森林への影響について批判され、ファイナンシャル・タイムズが入手した社内メールには、同社が老齢林由来の木材を燃やしていたことが示されている。

最新の調査は、オンライン誌の *Land and Climate Review* が、米国各州政府が保有する文書を使用して実施した。

昨年、公式に認められた違反が約 600 件あったほか、州当局の審査を経て違反と分類される可能性が高い事件が 3,487 件追加で発見され、違反件数は合計 14,865 件となる。

違反のほとんどは大気質法違反で、約 1,000 件は一酸化炭素、ホルムアルデヒド、揮発性有機化合物などの危険な大気汚染物質に関連している。これらの物質の中には発がん性物質もあれば、呼吸器系の問題を引き起こす物質もある。

Drax はこれらの汚染物質の許容レベルを超え、最も有害な排出物を抑制する機械を使用しなかった。ルイジアナ州の **LaSalle Bioenergy** のペレット工場では、2022 年に排出抑制措置が 333 回も

避けられた。これはほぼ1日1回にあたる。昨年、Draxの発電所では約600万トンの木質ペレットが燃やされ、その78%が米国から輸入された。

メリーランド州選出の上院議員クリス・ヴァン・ホーレン氏は、Draxは「今後、法律を遵守する義務を確実に果たすよう、責任を追及し、厳重に監視されなければならない」と述べた。

同氏は、Drax社の実態は「森林バイオマス排出法（Forest Biomass Emissions Act）を可決する必要があることを改めて示すものだ。この法律は、公衆衛生、気候、経済をよりよく保護するための措置を講じることができるよう、バイオマスエネルギー生産についての知見を高めることに役立つものだ」と述べた。

この法律は、同じく民主党のエリザベス・ウォーレン氏とコーリー・ブッカー氏とともに、4月に米国議会に提出された。

Draxは、2019年以来、環境規制当局から合計610万ドルの罰金を科されている。この金額が対象とするのは、違反件数全体の4分の1未満にすぎない。

同社は9月、ミシシッピ州グロスターの工場での有害大気汚染物質に関する違反で22万5000ドルの罰金を科された。英国ガス・電力市場局(Ofgem)によると、同社は昨年、利用者が負担する電気料金を財源とするグリーン補助金から5億4800万ポンド相当を受け取った。

Draxの広報担当者は次のように述べている。「当社は規制当局と緊密に連携して最善の環境慣行を確立しており、2022年以降、ペレット工場の改善と強化に1億ポンド以上を投資している。2024年末までにさらに3,000万ポンドを投資する予定である」。

「当社への許可の条件として、Draxは定期的に排出量を監視する義務を負っており、北米の規制当局にデータを報告するため、独立した第三者機関を利用している」。

「さらなる改善をできると考える。基準の引き上げとプロセスの改善において前進している。Draxは今後も規制当局や地域社会と緊密に連携していく」。

(翻訳：Land and Climate Review)